

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は 2026 年度世界陸連競技規則および国内広告規程および大会申し合わせ事項により実施する。
WRk 対象種目以外は 2026 年度日本陸上競技連盟競技規則および国内広告規程および大会申し合わせ事項
により実施する。※WRk 対象種目の確認は大会要項を参照のこと

2. 競技場の開閉門および受付について

▶たけびしスタジアム京都

	5月22日(金)	5月23日(土)	5月24日(日)
開門	13時15分	8時45分	7時15分
閉門	16時45分	20時30分	19時45分

※5月22日(金)に限り練習での利用が可能

▶東寺ハウジングフィールド西京極(補助競技場)

	5月22日(金)	5月23日(土)	5月24日(日)
開門	利用不可	8時45分	7時15分
閉門	利用不可	19時30分	19時00分

※5月22日(金)の練習に関しては、メインスタジアムで実施すること

▶競技者受付(アスリートビブス、プログラム配布)について

たけびしスタジアム京都、1階正面入口前に設置のチーム受付にて行う

※受付は開門時間～各日最終トラック種目開始30分前まで。5/24(日)は物品配布が完了次第、
業務を終了する

3. 練習について

練習は危険防止に十分注意し下記の表並びに注釈を参照の上で実施すること。

状況によって表及び注釈の内容が変更になる場合があるため、現地では競技役員、大会運営役員の指示に必ず
従うこと。

■練習会場の使用時間・日程

会場名	使用場所	5月22日(金)	5月23日(土)	5月24日(日)
たけびしスタジアム京都	トラック	13:15～16:45(※1)	利用不可	利用不可
	フィールド	利用不可	利用不可	利用不可
東寺ハウジングフィールド 西京極	トラック	利用不可	8:45～19:15(※2)	7:15～18:45(※2)
	フィールド	利用不可	8:45～19:15(※3)	7:15～18:45(※3)

※1【たけびしスタジアム京都での練習のレーン分け】

1～3：中・長距離種目、競歩種目

4～7：短距離種目(ホームストレートはスタート練習)

8～9：100mH、110mH(ホームストレート)

8～9：400mH(第一曲走路～バックストレート)

※用具はスターティングブロックとハードルのみ利用可能

ホームストレート中央に置いてあるものから使用し、使用後は元の位置に戻すこと

※2【東寺ハウジングフィールドでの練習のレーン分け(トラック)】

1～2：中・長距離種目、競歩種目

1～2：中学1500m(5月23日(土)14:15～15:15のみ)

3～6：短距離種目(ホームストレートはスタート練習)

*バトンパス練習は第一曲走路～第二曲走路間(5/24 10:00～12:00は5-6レーン使用不可)

5～6：パラ100m(バックストレート/5月24日(日)10:00～12:00のみ)

7～8：100m、110mH(ホームストレート)

7～8：400mH(第一曲走路～バックストレート)

*下記の小学生リレー、中学生100mの練習中は使用不可

*5月23日(土)のハードル設置は12:00～、5月24日(日)のハードル設置は11:45～

7～8：小学生リレー(第一曲走路～バックストレート/5月23日(土)11:00～12:00のみ)

7～8：中学生100m(バックストレート/5月24日(日)10:00～11:45のみ)

※状況に応じて、レーン割りを変更する場合がある

※小中学生、パラアスリートが練習を実施する時間帯があるので、十分注意すること

※3 【東寺ハウジングフィールドでの練習場所(フィールド)】

走高跳：第一曲走路内側

棒高跳：第二曲走路内側

走幅跳・三段跳：バックストレート側のピット

投てき種目：練習不可

4. 招集について

(1) 招集所はたけびしスタジアム京都1階、雨天走路に設置する。

招集所へアクセスする導線については、大会プログラムに掲載の諸室図を確認すること。

(2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

【トラック】

【フィールド】

開始時刻 25分前 開始時刻 50分前

完了時刻 15分前 完了時刻 40分前

※棒高跳
競技開始1時間前完了

※欠場する者は、招集開始時刻前までに欠場届を必ずTICに提出すること。

(3) 招集の手順

① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。

② その際、アスリートビブス、スパイクおよび競技場内で着用するウェアやバッグ類の商標点検を受ける。

同時にトラック種目出場者は「腰ナンバー(シール式)」を受け取り、右腰に付けること。

シールが剥がれやすい素材で作られた競技服装の場合、安全ピンを使用し、固定すること。

5000m、10000m、5000mWは「選手・チーム受付」で配布された別アスリートビブスを付けること。

③ 代理人による最終点呼は認めない。ただし、複数種目に出場する選手で、競技時間の都合により最終点呼を受けることが困難な競技者は、1種目目の招集時に2種目同時出場届を競技者係(招集所係員)に提出すること。届け出が完了すれば、第2種目目の代理点呼を認める。2種目同時出場届はTICにて配布する。3種目以上の届け出が必要な場合は、必要枚数分記入し、届け出ること。

④ 招集完了時刻に遅れたものは、欠場したものとして扱う。

(4) リレー種目について

① リレーオーダー用紙は第1組の招集完了時刻1時間前までに、競技者係(招集所係員)に提出すること。

(リレーオーダー用紙はプログラム巻末の用紙を使用すること)

② 招集完了時刻には4人全員招集完了をしていること。(女子4×400mRは代理人1名のみ点呼を可とする)

③ リレーマーカーは出場チームで用意し、使用したマークは、使用後各チームの前走者が必ず取り除くこと。

④ 「腰ナンバー(シール式)」の着用ルールは下記の通りとする。

4×100mR：第4走者のみ付けること(右腰につける)

4×400mR：第2・3・4走者が付けること(右腰につける)

(5) 欠場する場合は、招集開始時刻前までに欠場届を必ずTICに提出すること。なお、欠場届は、関西連盟HPからダウンロードもしくはプログラム巻末ならびにTICにて用紙を受け取り使用すること。

5/22(金)16時まで提出する場合は、大会要項記載のメールアドレスに送付すること。

(6) 招集所からスタート地点・跳躍場・投てき場への移動は競技役員の指示に従い移動すること。

(7) TICにて取り扱う書類・・・欠場届、2種目同時出場届、投てき器具検査申告表兼預かり証

5. 競技進行について

(1) 競技について

① 予選におけるトラック種目のレーン順、フィールド種目の試技順は、プログラム記載の番号順とする。

② スタート地点からゴール地点への衣類等の荷物の運搬は行わない

③ 男子走幅跳は予選を実施する。予選通過記録は7m10cm、試技は3回までとする。

決勝進出者が12名に満たない場合、予選記録上位者から決勝進出の資格を得るものとする。

(例1) 予選通過記録突破者が8名の場合：通過記録未突破者の内、記録上位4名が決勝進出となる

(例2) 予選通過記録突破者が14名の場合：通過記録未突破者の決勝進出は無し(14名で決勝実施)

決勝は3回までの試技で上位記録者8名を決定し、上位8名には更に3回の試技機会が与えられる。

④ 予選を実施するトラック競技において、エントリーが 9 名未満の場合、予選はW-u p レースとして実施する (W-u p レースの出場は任意)。

⑤ オープン参加選手について

【男女 100m・200m、女子 100mH、男子 110mH】

1 s t レースの記録上位者は、2 n d レースに進むことができる。

2 n d レースに進める人数については、競技日程或いはスタートリストを確認すること。

※エントリーが 9 名以下の場合であっても、1 s t レースは実施する (2 n d レースの出場には 1 s t レースへの出場が必須となる)

【男子走幅跳】

予選記録最上位の選手 1 名のみ、決勝進出を認める (決勝の試技は 3 回まで)。

【走幅跳、三段跳、投てき種目】

オープン参加選手の試技は 3 回までとする。

但し、選手権参加選手 (関西実業団登録選手) とオープン参加選手の合計が 8 名以下となる種目については、この限りではない。

⑥ トラック種目、フィールド種目にまたがって同時間帯に出場する場合は、フィールド競技役員にその旨を申し出て、トラック種目を優先して出場することを原則とする。

⑦ 男子 100m 予選、及び予選がある種目の決勝の組合わせとレーンは主催者が抽選し、速報サイトにて発表する。オープン種目の 2 n d レースについても同様とする。

⑧ トラック競技における次のラウンド進出者のプラスの決定について、その最下位において 100 分の 1 秒単位で同記録があった場合、1000 分の 1 秒で着差判定をして進出者を決める。着差がない場合でレーン数に余裕があれば同記録の者は次のラウンドへ進出できる。レーン数の不足する時は抽選する。
※着差無しで次ラウンド進出者が増える場合は、関西実業団登録選手を優先する。

⑨ 下記種目は制限時間を設ける。制限時間を超えた場合、新たな周回に入らず、競技を打ち切る場合がある。
男女 5000m : 18 分 00 秒、女子 10000m : 35 分 00 秒、男女 5000mW : 32 分 00 秒

⑩ 本大会は、WA 規則 TR5 の改定ルールを適用する。

※詳細は日本陸連HP参照 <http://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>

⑪ アスリートビブスは配布された大きさのままで、ユニフォームの胸部と背部に付けること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでよい。

⑫ 三段跳の踏切板の位置は当日、跳躍審判長が決定する。

⑬ 走高跳、棒高跳のバーの上げ方について

走高跳	男	決	練習 1m80	1m85-90-95-2m00-05	以降 3cm ずつ上げる
	女	決	練習 1m55	1m60-65-70-75	以降 3cm ずつ上げる
棒高跳	男	決	練習 4m00	4m10-20-30-40	以降 10cm ずつ上げる
	女	決	練習 3m00	3m10-20-30-40	以降 10cm ずつ上げる

※ 同記録による 1 位決定のバーの上げ方は、走高跳 2cm、棒高跳 5cm とする。

また、天候により競技役員の判断で変更をする場合がある。

⑭ 走幅跳、三段跳のコーチングエリアにて、撮影した動画 (撮影媒体) を渡すための袋は各コーチで準備をすること (走幅跳、三段跳以外のコーチングエリアでは袋は不要)。

6. 競技用具について

① 投てき器具 (やりに限る) は、競技開始 60 分前までに検査を受けた個人所有の使用を認める
受付場所 : T I C (正面玄関内)。

希望者は投てき器具 (やり) と「WA 認証番号を記入した投てき器具検査申告書」を添えて T I C へ提出すること。

② 検査を受けたのち、預かり証を発行する。返却は現地 (競技実施場所) にて預かり証を確認の上、返却する。

③ 検査に合格した投てき器具は主催者で借り上げ、競技者全員が使用できるものとする。

7. 抗議について

抗議は、日本陸上競技連盟競技規則により、T I Cへ申し出るものとする。

8. 表彰について

- ① 各種目の優勝者を表彰する。
- ② 1位から3位までの入賞者は成績発表後直ちに、表彰待機（正面玄関内ホール）に集合し、競技役員の指示に従って賞状と副賞の贈呈を受けること。
- ③ 関西連盟以外の登録者については表彰の対象外とする。
- ④ 強化委員会にて、最優秀選手、敢闘選手、新人賞を選考し賞を与える。
- ⑤ 最優秀選手には毎日新聞社トロフィーを授与する。
- ⑥ 小学生、中学生の種目は1位～8位に賞状を授与する（T I Cでの受け渡しとする）。

9. その他

- (1) メイン競技場での場所取り、荷物の残置は認めない。
補助競技場での荷物の残置は認めるが、紛失・盗難・その他トラブルに関して主催者は一切責任を負わない。
- (2) 部旗、横断幕、幟の掲出について
 - ・企業名、ブランド名、製品名などは広告とみなされる為、一切掲出できない。
 - ・上記とは関係ないクラブ名や、選手名のみであれば掲出可能。
※避難誘導等やスタジアムロゴを隠さないよう注意すること。
※競技運営などに支障のある場合は、撤去又は移設を指示する場合がありますので従うこと。
※掲出ルールに抵触し、競技場への支払いが発生した場合、その費用は掲出者が負担するものとする。
費用を支払ったとしても、本大会での広告物の掲出は一切できない。
 - ・掲出可能な部旗、横断幕、幟については大会期間中残置を認めるが、悪天候が予想される場合は撤去すること。
 - ・紛失、盗難などの他のトラブルに関して主催者は一切責任を負わない。
- (3) 記録の掲示は行わない。ホームページ、関西連盟 SNS にて随時公開する。
- (4) 更衣について
 - ・更衣室は更衣の為のみ利用可能とする。待機場所としての利用は出来ない。
 - ・貴重品は各自で責任を持って管理すること。
 - ・シャワールームは使用できない
- (5) 競技中に発生した傷害・疾病については、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (6) 携帯電話、通信機能付きスマートウォッチ等の情報機器の競技場内への持ち込みは禁止する。
- (7) 本大会では、事前に申請し、承認を受けた「報道関係者」と「企業広報担当者」、並びに当日申請が受理された「選手・チームスタッフ」と「選手・チームの関係者」以外は、一眼レフカメラ、ビデオカメラ、その他望遠機能のついた記録媒体の使用を一切認めない。スマートフォンについては撮影者の制限は設けないが、スタンド下段（通路より下の座席）、並びに撮影禁止方向からの撮影は一切認めない。
撮影許可を受けた者は、大会より発行される許可証（ビブス、ADカード、腕章等）を必ず見えるように着用すること。
撮影ルールの詳細については <http://kansai.jita-trackfield.jp/schedule/p/> から必ず確認をすること。
競技場内のあらゆる時間、場所に置いて、不適切な撮影行為（盗撮等）が疑われる場合については、場内巡回スタッフが声掛けする。その際、撮影内容を確認する為、必ず応じること。盗撮を発見した場合には、直ちに警察に通報する。
- (8) フィールド競技に関しては、スタンドにコーチエリアを設ける。
コーチは大会当日、T I Cにて撮影の申請を行い、腕章を受け取ること。
申請方法は「選手・チーム関係者」と同様とする。（7）に掲載しているURLから、撮影ルールの詳細を必ず確認しておくこと。